

◎社会科の入試問題について

①は地理分野、②は歴史分野、③は公民分野を中心に出题しており、各大問 25 点ずつの配点としています。文章で答える記述問題では、部分点を設けています。

① (地理分野中心)

問1 (ア)は石狩川、(カ)は信濃川、(ク)は筑後川を示しています。

(1) 正解はAです。①は冬に低温であることから(ア)、②は冬の降水量が夏と比べて多いことから(カ)、③は冬の気温が比較的高く夏の降水量が多いことから(ク)と判断できます。

(2) 正解はFです。①は「クリーク」「米と麦類の二毛作」から(ク)、②は「水田単作地帯」「暗渠排水をおこなって湿田の乾田化」から(カ)、③は「泥炭地」「客土」から(ア)と判断できます。

問2 正解はBです。この文は、扇状地よりも下流側に形成される氾濫原について述べた文です。

問3 (ウ)は安積疏水、(エ)は両総用水を示しています。正解は、X：郡山、Y：利根です。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解とします。

問4 (1) 正解はDです。日本の多くの地域は季節により降水量が変化するため、ダムは水量は変化します。よって年間を通して安定した電力を生み出せるとはいえません。

(2) 正解はボーキサイトです。

問5 正解はBです。①は正しい内容です。この放水路に河川の増水分を流し込むことで浸水被害を減らすことができます。②は誤っています。Qの図でみられる不連続な堤防は、川の流れの向きと反対に口が開いており、いったん河川の水を堤防の外側に逃がすことで一時的に河川を流れる水量を減らし、下流での氾濫を防いでいます。増水した河川の水をすみやかに下流域に流すためではありません。

問6 Iの構造の砂防ダムではすべてをせき止めてしまい、土砂が下流に供給されなくなります。また、土砂や流木などがたまり続けると決壊する危険性が高まります。IIの構造の砂防ダムでは、流木など大きなものはせき止められますが、土砂などは通すことができ、透過性が高いといえます。そのため、下流への土砂の運搬を妨げません。「IIの方が透過性が高いため、下流への土砂の運搬を妨げない。」という内容が書けていれば正解です。

② (歴史分野中心)

問1 正解はAです。菅原道真は、9世紀に遣唐使の派遣停止を進言しました。墾田永年私財法は8世紀に制定されました。時期が異なることから、Aが誤っていると判断できます。

問2 正解はAです。794年は延暦十三年にあたります。天平は8世紀、承平は10世紀の元号です。(ウ)

には、8世紀に天皇となった桓武天皇があてはまります。天智天皇・天武天皇は、ともに7世紀に天皇になりました。

問3 正解は**E**です。淡路国は現在の兵庫県にあたります。また、橘逸勢は三筆として知られています。

問4 正解は**C**です。下線部**(カ)**の直前に「享保」とあるので、**C**の上げ米の制について述べた文を選びます。**A**は室町時代の徳政令について、**B**は鎌倉時代の御恩について、**D**は天保の改革について述べています。

問5 正解は**B**です。天正遣欧使節は、有馬晴信・大友義鎮・大村純忠らキリシタン大名によって派遣されました。

問6 正解は**D**です。『奥の細道』は、浮世草子ではなく俳諧をまとめた紀行文であり、①・②ともに誤文です。

問7 (1) 「西陣」という地名は、応仁の乱において、この地に西軍の陣が構えられたことに由来しています。また、本文より、下線部**(シ)**は細川勝元を指しており、下線部**(シ)**と対立していた「ある守護大名」は山名持豊(宗全)であると考えられます。「**応仁の乱において、西軍の総大将だった山名持豊(宗全)が、この地に陣を構えた(ことに由来する。)**」という内容が書けていれば正解です。

(2) 正解は**C**です。**A**について、貝塚などの遺跡が内陸部でも発見されることから、縄文時代は現在より海面が高かったと考えられています。**B**は「埴輪」という部分が、**D**は「鉄器がまったく使用されていない」という部分がそれぞれ誤っています。

問8 正解は**A**です。**B**は「柳条湖」という部分が、**C**は「中華民国軍」という部分が、**D**は「盧溝橋事件」という部分がそれぞれ誤っています。

問9 正解は自由民主(党)です。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解とします。

3 (公民分野中心)

問1 (1) 正解は**C**です。①は誤文です。2015年に採択されたのはSDGs(持続可能な開発目標)で、MDGs(ミレニアム開発目標)に代わる国際社会の新しい目標です。②は正文です。条約の発効に必要な批准国・地域が50に達したことで、2021年1月に核兵器禁止条約は発効しました。

(2) **(あ)**は酸性雨、**(い)**は砂漠化、**(う)**は熱帯林の減少、**(え)**はオゾン層の破壊を示しています。正解は**C**です。

問2 正解は**B**です。資料の読み取りでは、示されている数字をきちんと確認することが重要です。

問3 (1) 正解は**D**です。衆議院議員の被選挙権を持つのは25歳以上の日本国民ですが、裁判員は20歳以上で選挙権を持つ人のなかから選ばれます。なお、2022年4月から、裁判員に選ばれる年齢が18歳に引き下げられます。

(2) 正解は**B・C・D**です。**A**の環境権は、日本国憲法に規定されていない「新しい人権」のひとつとして知られています。

問4 正解は**避難指示**です。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解とします。

問5 正解は**ピクトグラム**です。

問6 正解は**B**です。オンブズマン（オンブズパーソン）制度とは、有識者である第三者（オンブズマン）が行政に対する苦情を市民から受け付け、その原因を究明することで、問題を解決しようとするものです。

問7 この**【資料】**は、フランスの思想家であるモンテスキューが著した『法の精神』の一部を日本語訳したものです。正解は**三権分立**です。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解とします。

問8 選挙は市民の政治参加の代表的な手段ですが、それ以外にもさまざまな方法で市民は政治に参加することができます。こうした方法を「異なる観点からふたつ」考えて説明してもらった問題でした。解答例としては、以下のようなものが挙げられます。

- ・国や地方の行政機関や議員に、要望を伝える。
- ・規定の署名を集めて、直接請求をおこなう。
- ・パブリックコメントで意見を表明する。

以上